



Gâi aios&Dankie



ナミビア通信 No.5 2018年3月22日 青年海外協力隊 松原小夏

北陵中学校の皆さん、協力隊活動に関心を持ってくださいる皆さんこんにちは！今回は授業のことについて書きます。備忘録ですが・・・よければお付き合いください(^-^)

今年の担当授業

2018年度は、5年生の算数、4～7年生のArts(芸術)、6,7年生のInformation & Communication(情報)、6年生の体育を担当させていただいています。昨年よりコマ数が増え、週2コマ4教科の準備で気持ちに余裕がなくなるのが情けないけれど、やりがいがあります。こちらは、3コマ以上持っている先生もいます。だから私でも、教頭・校長を除けば、教科担任の中では一番コマ数が少ない方なのです。



4年生 A、B組の校舎は日本大使館寄贈のもの。

ここナミビアでは、0～3年生までは学級担任制、4～7年生は教科担任制になります。そして、教科担任は一人で複数教科を担当することが多いです。例えば、5年A組担任 Ms ヒンジョウは、4、5年生のアフリカンスと6、7年生の家庭科を担当、5年B組の Mr シンディンバは5年の英語と情報、5、6年生の農業を担当…という感じです。教員がもっと増えてほしい。コマ数が多いとは言っても、たった40分の授業。どう効率よく教えようと奮闘する教員の苦勞の割に、子どもに力が十分につかない気がします。

く～！！苦戦！算数…

私は算数がやりたくて、協力隊の「小学校教諭」の枠に応募しました。だから、今のこの状況は、自分が一番がんばらなくてはいけないところです。今年は、5年生がニクラスになり、一クラスあたりの人数が昨年よりも減ったので、話が通りやすく、一人一人を丁寧に見られるのでありがたいです。

が…シラバス(学習指導要領)の求める内容や教科書の内容が、子どもの現状の学力で対応できる範囲よりも多く、難しい。5年生で、数の概念さえ十分に形成されていない(指で足し算する)のに、なんでこんな小難しいことさせるの？という内容が教科書には載っています。例えば、 $374+188=300+70+4+100+80+8$

$=400+150+12+=562$ と書かせるとか、「Write down the missing numbers(空欄に入る数字を書け) 77441,78441,79441 ____, _____」とかです。で



常にグループ隊形が普通。いいけど・・・
こっち向いて集中して！と思ってしまうことも。

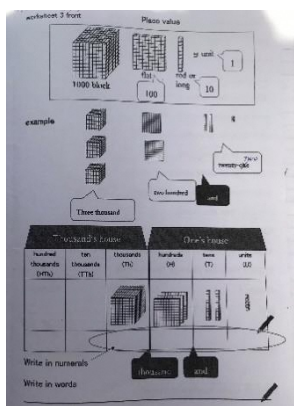
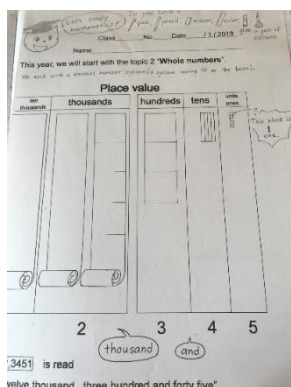
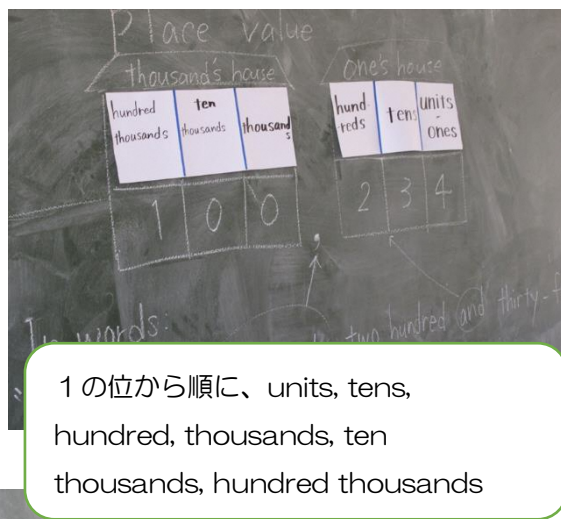
1. Write down the missing numbers:
 - a) 27 000, 28 000, 29 000,
 - b) 94 000, 93 000, 92 000,
 - c) 87 000, 77 000, 67 000,
 - d) 46 000, 56 000, 66 000,
2. Write down the missing numbers:
 - a) 68 875, 68 885, 68 895,

教科書には問題は載っているけれど、なぜそうなるのかという図や解説がほぼない。

も、これは、位取りがちゃんとできて、各桁の数字の表す大きさ（量）が分るからできることであって、十進法位取りがむちゃくちゃの子どもたちにとっては、意味が分からないことだと思います。

数って何かわかってほしい

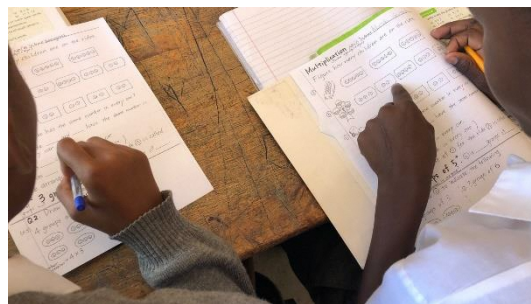
ということで、新年一発目の単元「Whole Number」（整数）では、4年生の復習にはなりますが、とにかく位取りを意識して、きちんと大きな数を読めるように、しつこく、「位の部屋」を登場させました。だいたい読めるように、位の意味が分かるようになったかな…計算は、筆算を中心に。でも、そもそも一桁の繰り上がりの足し算（ $8+4$ など）が、すっとできない子もいるので、本当は、そこから支援できるといいなと、もやもやしながら進めました。



スパルタです（汗）

子どもたちはおしゃべりが多く、聞いていない子もいるので、一人一人名前を呼んで当てては、答えさせることが多いです。シラバスを終わらせなくてはという焦りから私一人イライラして…意味ないですね。でも、なんとか進度に食らいつこうとしているし、わかったら答えを発言したくて一生懸命手を挙げているし、問題が解けたら進んで見せに来てくれる。ノリがいいので、答えが合っていると「correct correct! ♪」（正解、正解♪）と合唱する時も(笑)毎日宿題をする大切さも、わかってきてくれたみたい。

ついつい、できるようにさせたい！！と、必死になってしまいますが、何をもって「できる」と判断するかは、教師（大人）が基準をどう設定するか。生活に困らないレベルの算数は、「できる」と実感できるようにしてあげたいです。そしてもっと、こんな上から目線の教え込みではなくて、子どもの発言が生き生きと出てくる授業に、楽しいと思えるように……したい（- -;）と思います。



別の町に赴任する隊員さんが見学に来た際、撮影してくれた写真。前日に「明日はお客さんが来るよ」と言ってあったら、当日なぜか自分たちで机を黒板に向けて座り出し、「今日はこうやって受ける」という子どもたち。いつもより、とーっても静かに聞いていて、驚いてしまいました(笑)。